

◆ 第一部 講演会

「暁斎が描いた能狂言画」

河鍋楠美 (河鍋暁斎記念美術館館長)

「狂言について」

児玉信 (邦楽プロデューサー)

暁斎・暁翠が描いた

能狂言の世界

特別公演

大藏彌太郎 狂言「伯母ヶ酒」

◆ 第二部 狂言公演

「狂言伯母ヶ酒」

大藏彌太郎ほか



大藏 彌太郎



2019 3月24日(日) 開演 14:00 (開場 13:30)

蕨市立 文化ホールくるる

〒335-0004 埼玉県蕨市中央1-23-8 048-446-8311
JR上野より25分・JR池袋駅より22分・JR大宮より15分
JR京浜東北線 蕨駅 西口より3分・駐車場はございません

チケット：1,000円 (全席自由) ・1月23日(水) 発売開始 ・未就学児童の入場はご遠慮ください

取り扱い：・くるる窓口 048-446-8311 / 蕨市民会館 048-445-7660 【銀行振込・郵便振替可(3枚以上)】
・河鍋暁斎記念美術館 048-441-9780

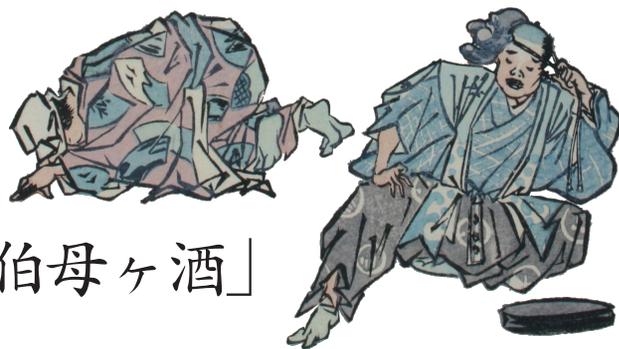
お問合せ：蕨市立文化ホールくるる 048-446-8311 HP: <http://warabi-fmpc.or.jp/kururu/>

蕨 くるる

検索

主催：蕨市立文化ホールくるる 共催：蕨市 / 蕨市教育委員会 企画・協力：(公財) 河鍋暁斎記念美術館 / NPO さいたまアートジェムボックス

暁斎・暁翠が描いた 能狂言の世界



特別公演 大藏彌太郎 狂言「伯母ヶ酒」



児玉 信 (こだま まこと)

伝統芸能評論家、能楽ジャーナリスト、邦楽プロデューサー。

昭和 21 年 9 月 4 日生まれ。大学在学中から折口信夫（歌人釈道空）の提唱により昭和 18 年に設立された藝能学会に入り、機関誌『月刊 藝能』（現『年刊 藝能』）の編集に携わる。昭和 47 年 12 月、観世流・金剛流謡本書肆である檜書店に入社。観世流機関誌『月刊 観世』の編集に携わる。現在は、日本大学芸術学部演劇学科非常勤講師、石川県立音楽堂邦楽アドバイザー、藝能学会副会長、(公財)日本伝統文化振興会常任理事ほか。平成 27 年「蕨市けやき文化賞」受賞。著書に『ぶらり東海道 五十三次芸能ばなし』（アートダイジェスト）、『能舞台 歴史を巡る』（建築画報社）などがある。



河鍋 楠美 (かわなべ くすみ)

河鍋暁斎記念美術館理事長・館長。河鍋暁斎の曾孫。

1931 年、東京生まれ。東京女子医科大学卒業後、東京大学にて医学博士取得。1944 年より蕨市在住。1964 年に蕨眼科を開業（院長）。1977 年 11 月 3 日、暁斎と一門を顕彰するための「暁斎記念館」を開館。1986 年、財団法人の認可を受け「河鍋暁斎記念美術館」と改称。2012 年、公益財団法人に移行。これまでに他館と共同開催した暁斎展は 43 回に及び、ロンドンの大英博物館（1993-94）や京都国立博物館（2008）でも開催。埼玉県文化ともしび賞、内山賞（現・国際浮世絵学会）、蕨市けやき文化賞、厚生援護功労賞（東京都知事）等受賞。近著に『河鍋暁斎・暁翠伝』（KADOKAWA 刊）がある。



大藏 彌太郎 千虎 (おおくら やたろう せんとら)

能楽師大藏流狂言方。公益社団法人能楽協会理事、同東京支部常議員。
大藏狂言 SHIN-大藏三兄弟-長兄。

昭和 49 年（1974）生。東京都在住。二十五世大藏彌右衛門の長男。本名「基照（もとみつ）」。
祖父（故）二十四世大藏彌右衛門及び父に師事。五才「以呂波」にて初舞台を経て、未広がり、千歳、那須、三番三、釣狐、花子の大曲を披く。平成 10 年、宗家に伝わる幼名「千太郎」を襲名。平成 28 年、成人名「彌太郎 千虎」を襲名。

蕨市立文化ホールくるる

〒335-0004 埼玉県蕨市中央 1-23-8 TEL: 048-446-8311
Web Site: <http://warabi-fmpc.or.jp/kururu/>
JR 京浜東北線蕨駅西口 3 分・駐車場はございません。



チケット・半券で
指定店舗にてサービス
<http://warabi-t.net/>
蕨市田楽茶飲組合